

# 専門外来をご存知ですか？

専門外来とは、特定の臓器や病気、症状について、専門的な診断・治療をする外来です。診断・治療が難しいカラダの症状や、専門的な治療が必要な病気、長くつきあっていかなければならない病気などについて、専門の医師が診察にあたります。多摩南部地域病院には、以下のような専門外来があります。(平成26年12月1日 現在)

内 科		
肝臓・消化器外来	船富	(月)午後
	小濱	(月・木)午前
	杉浦	(金)午前
内分泌・代謝外来	宮川・川越	(木)午後(隔週交替)
糖尿病外来	中嶋	(火)午前・午後 (金)午後
	本城	(水)午前・(金)午後
リウマチ膠原病外来	河本	(金)午後
	白戸	(火・木)午後
腎臓内科	小倉	第1・3(火)午後
循環器内科		
ペースメーカー外来	吉崎	(月)午後
不整脈外来	吉崎	(水)午後
小 児 科		
腎臓外来	昆	第1・3(木)午後
心臓(循環器)外来	高梨	第2・4(金)午後
	高安	(水)午前
神経外来	大瀧	第2・4(火)午後
	中原	(木)午前
夜尿(夜尿・導尿)外来	堀	(水)午前・午後(金)午後
アレルギー外来	大谷	第2・4(水)午後
外 科		
乳腺 初診外来	重松	(水)午後
肝腫瘍外科 初診外来	桂川	(月)午後
成人ヘルニア 初診外来	古川(達)	第1・3・5(月)午後
	古川(健)	

整 形 外 科		
人工関節外来	瀬戸・小林・尾崎	第4(水)午前
スポーツ外来	瀬戸	第1・3・5(火)午後
脳 神 経 外 科		
水頭症・漢方外来	和智	(木)午前
脳卒中外来	多田	(火)午後
頭痛外来	小池	(金)午前
脳血管内治療外来	三橋	(月)午後
皮 膚 科		
形成外科	浜永	(金)午前
泌 尿 器 科		
男子不妊・内分泌外来	北原	(月)午後
尿失禁(尿もれ)外来	小林	(木)午後
婦 人 科		
女性専用外来	桑江	(水)午前
耳 鼻 咽 喉 科		
補聴器外来	金	(月)午前
睡眠時無呼吸外来	金	(火)午前
めまい外来	佐々木	(木)午前
歯 科 口 腔 外 科		
インプラント外来	吉田(桂)	(水)午前
	森田	(金)午前
SASマウスピース外来	森田	(金)午前

## 専門外来を受診したいと思ったら・・・

★ かかりつけの先生とご相談のうえ、専門外来宛ての紹介状を書いていただいで下さい。

### ご予約は電話でお願いします

- ① かかりつけの先生からいただいた紹介状の封筒を、お手元にご用意下さい。
- ② 当院に電話で受診の日時を予約して下さい。予約専用電話 みなさん 042-373-5489 ごやく
- ③ 紹介状の封筒に記載されている、「〇〇専門外来の〇〇先生の予約希望」とお告げ下さい。



～専門外来は、曜日時間があらかじめ決まっていますので、確認のうえご予約をお願いします。～

♪ お問い合わせ先 地域医療連携室 まで ♪  
♪ 多摩南ミニ通信を入手されたい方は地域医療連携室 まで ♪

# 今月の医療

## 加齢男性性腺機能低下症候群 (いわゆる男性更年期障害)

### 泌尿器科

女性の場合、ほてり、発汗、場合によっては抑うつ傾向などの症状を示す更年期障害の起こる割合は約70%とされています。しかし、男性の場合は精巣機能、特に男性ホルモン（主にテストステロン）の低下はゆっくりで、年1.2%程度の低下とされています。よって、女性の閉経時の急激な性ホルモンの変化は男性にはないとされています。ところが、男性では大きな個人差があり、**加齢男性では低男性ホルモン状態が見られ、症状を有するのは全体の6%程度**という報告もあります。男性更年期障害は俗称で、最近では加齢男性性腺機能低下症候群という長い名称になっています。

その代表的な所見は、

- 1) 性欲と勃起の低下
- 2) 知的活動や認知力の低下、疲労感や抑うつなどの精神不安定
- 3) 筋力低下
- 4) 内臓脂肪の増加
- 5) 体毛と皮膚の変化
- 6) 骨粗鬆症と骨折の危険性の増加

とされています。

一般には、アンケートによる「Aging Male's Symptoms Score」(右表)によって、訴えの程度を評価します。

右表の17問を、なしを1点、非常に強いを5点とし、各症状を1～5点に数値化して合計を算出し分類します。

26点以下	異常なし
27～36点	軽度
37～49点	中程度
50点以上	重症

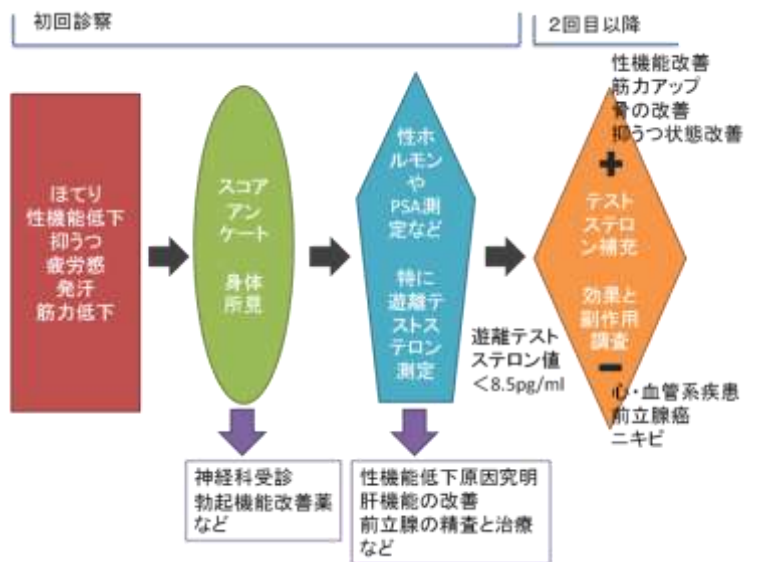
検査としては、血中の遊離テストステロン値を測定し、8.5pg/ml(基準値14～40pg/ml)未満であり、性機能低下の症状や所見を有する40歳以上の男性は、男性ホルモン補充の対象になります。

補充療法は主に男性ホルモン筋肉注射であり、3～4週間に1度の割合で受診し、注射を受ける事になります。男性ホルモンの内服は肝障害を起こしやすく腫瘍の発生も報告されており、あまり使用されません。また、男性ホルモンの塗り薬やパッチは日本では保険適用ではありません。

男性ホルモン補充療法の副作用として、前立腺癌や心・血管系疾患の増加に危険が想定されているため、定期的な検査も必要です。また、なかにはニキビができて思春期のような方方もいます。

症 状	点数
1) 総合的に調子が思わしくない	
2) 関節や筋肉の痛み	
3) ひどい発汗	
4) 睡眠の悩み	
5) よく眠くなる、しばしば疲れを感じる	
6) いらいらする	
7) 神経質になった	
8) 不安感	
9) からだの疲労や行動力の減退	
10) 筋力の低下	
11) 憂うつな気分	
12) 絶頂期は過ぎたと感じる	
13) 力尽きた、どん底にいると感じる	
14) ひげの伸びが遅くなった	
15) 性的能力の低下	
16) 早朝勃起の回数の減少	
17) 性欲の低下	
合 計	

～診断から治療への流れ～



泌尿器科部長 北原聡史

**☆当院は紹介制の医療機関のため、まずかかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。**